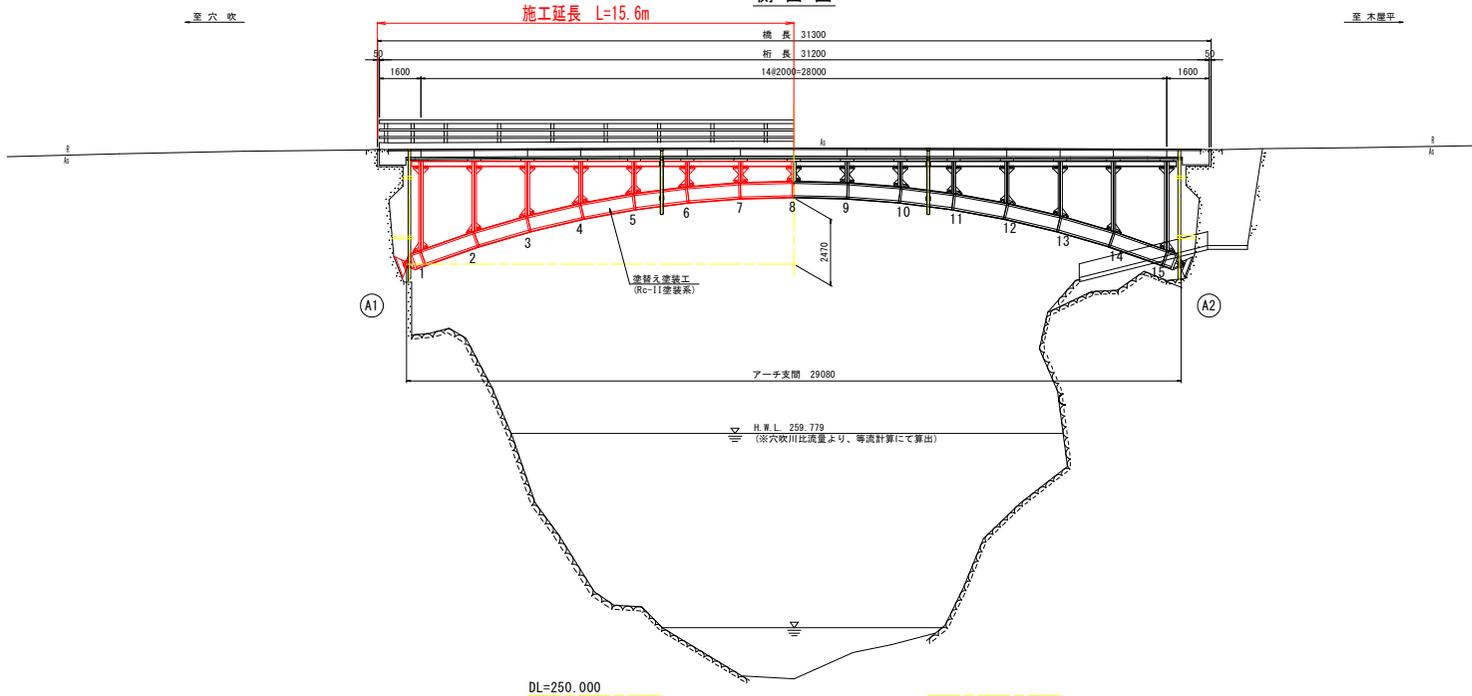
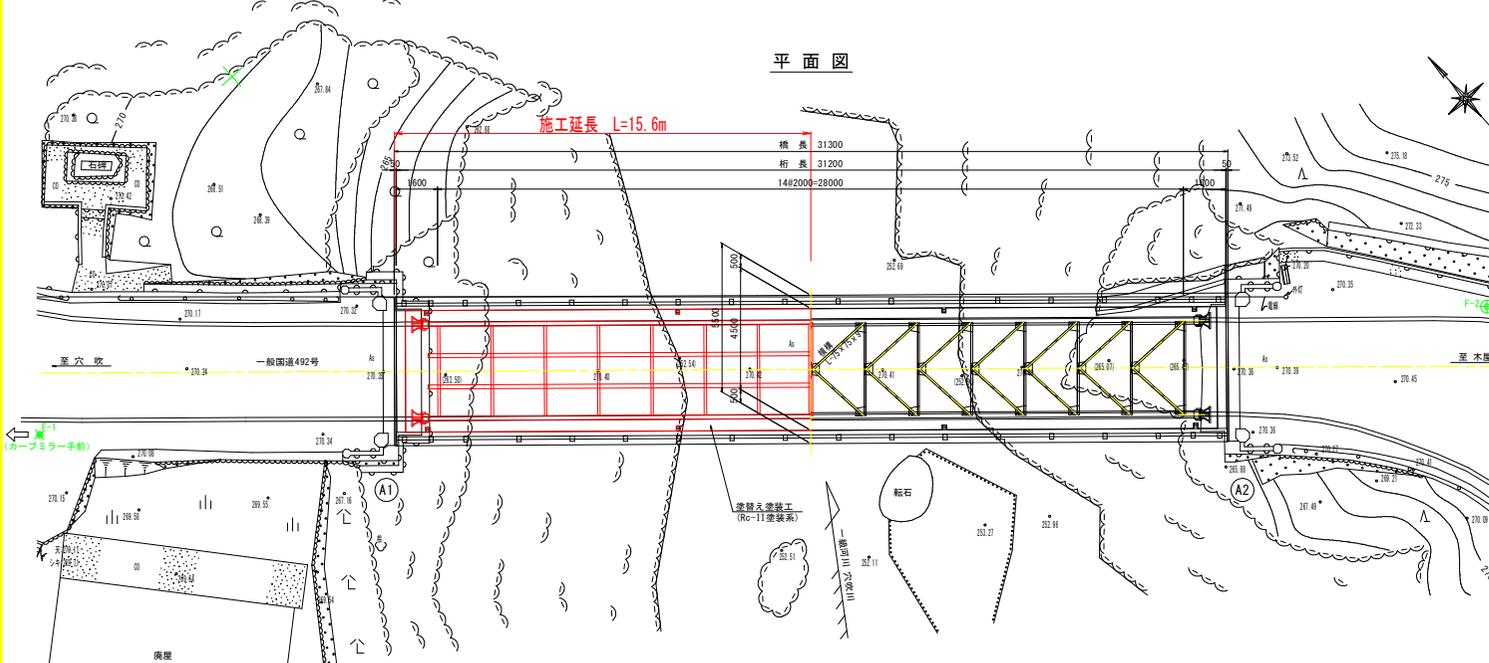


# 橋梁補修工一般図 S=1:100

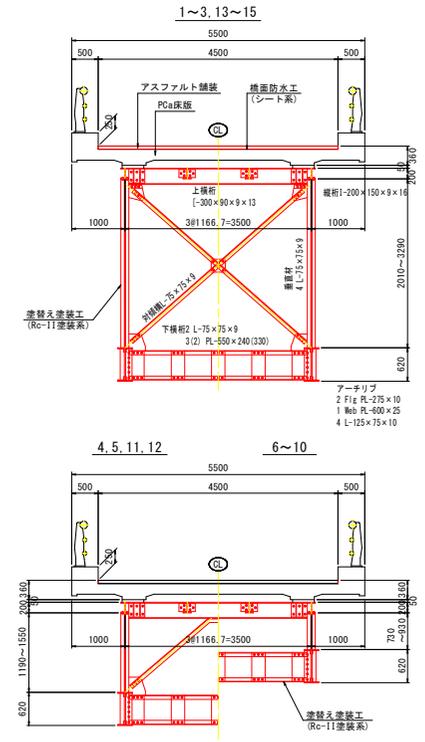
側面図



平面図



構造図 S=1:50



現橋諸元	
築設年	1936年8月 (昭和11年8月)
形式	鋼上路式アーチ橋
橋格	三等橋 (自動車6t, 転圧機8t)
橋長	31.300m
桁長	31.200m
支間	30.250m (アーチ支間29.080m)
有効幅員	4.500m
舗装	アスファルト舗装
斜角	$\theta=90^\circ$
橋台形式	重力式橋台 (直接基礎)
適用示方書	大正15年6月 (1926) 道路構造に関する規則案

補修項目一覧表

部材	補修工種	適用箇所
上部構造	塗替え塗装工 (Rc-11系)	上部工鋼部材

当初設計図面

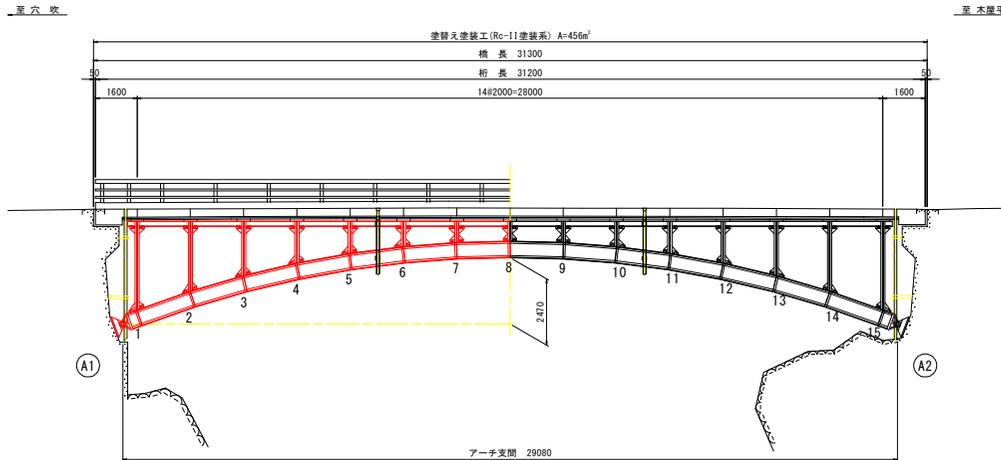
工事名	R7馬士 国道492号 (龍頭橋) 美・木履平南橋 橋梁塗装工事
路線名等	一般国道492号 (龍頭橋)
工事箇所	美馬市木履平南橋
図面名	平面図
縮尺	1:100 図面番号 1 / 3
会社名	
事業者名	西部総合県民県土整備部<美馬>

基準点座標一覧表

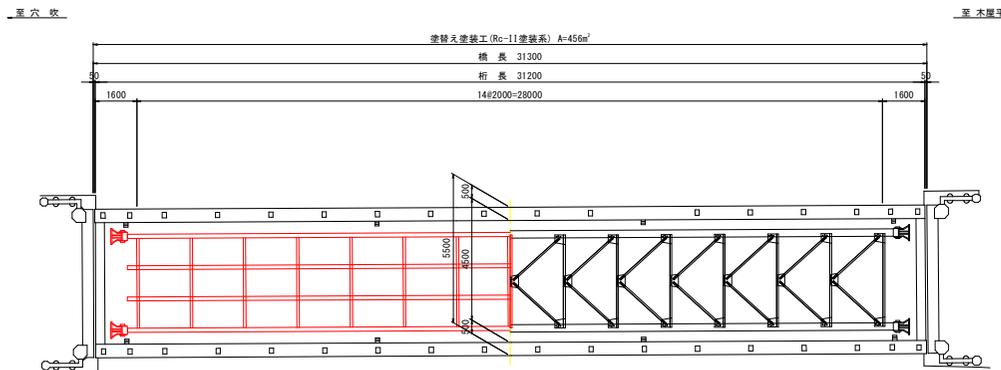
点名	X座標	Y座標	Z座標
F-1	1000.000	1000.000	270.000
F-2	962.102	1049.286	270.459

# 塗替え塗装工詳細図 S=1:100

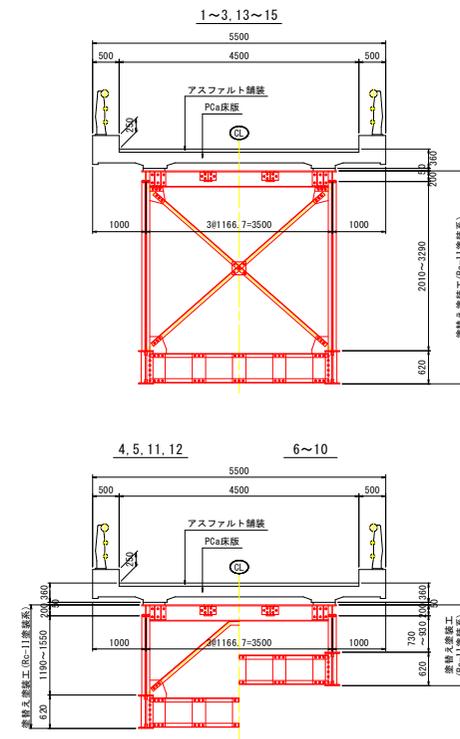
側面図



平面図



構造図 S=1:50



Rc-II塗装系

塗装工程	塗装名	使用量 (t/m)	塗装方法
床地調整 2種			
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	はけ、ローラー
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	はけ、ローラー
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	はけ、ローラー
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	はけ、ローラー
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	はけ、ローラー

国道橋補修便覧 (H26.3) より

当初設計図面

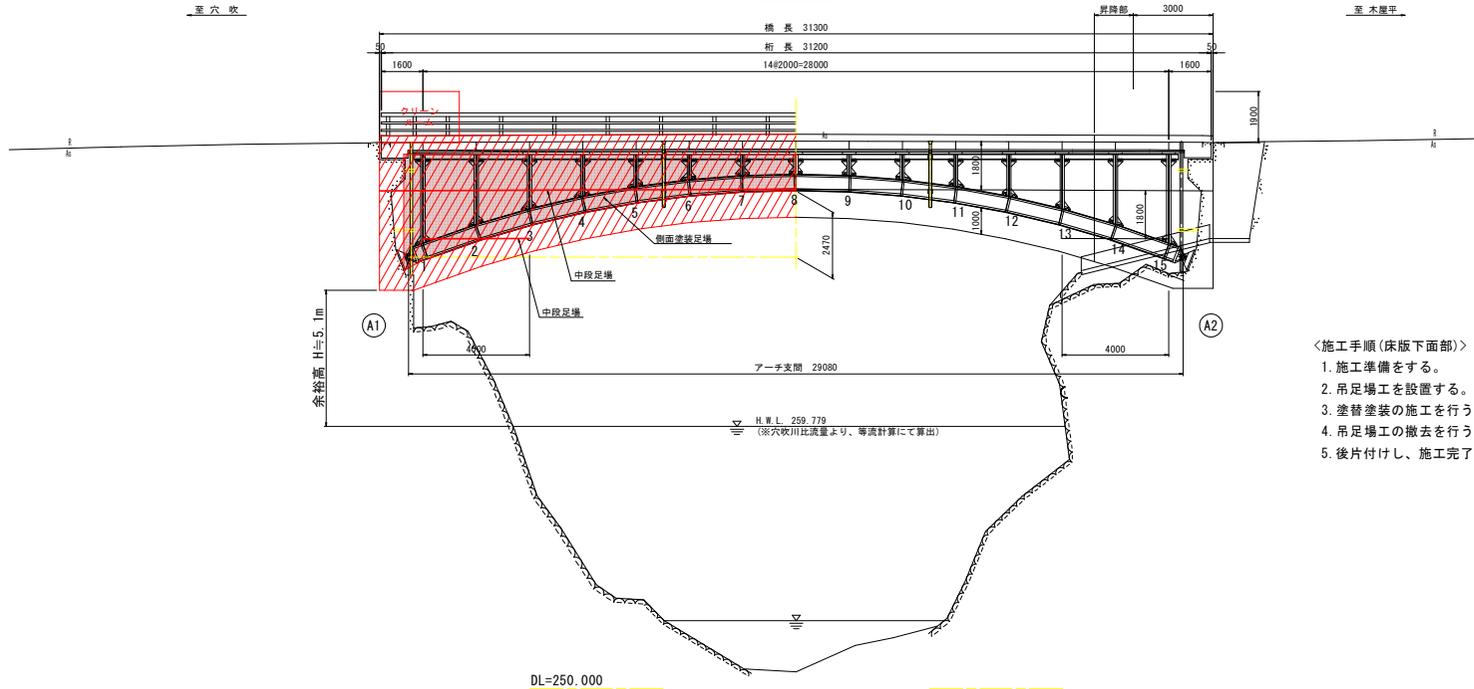
工事名	R7馬士 国道492号(龍頭橋) 栗・木履平南橋 橋梁塗装工事
路線名等	一般国道492号(龍頭橋)
工事箇所	美馬市木履平南橋
図面名	塗替え塗装工詳細図
縮尺	1:100 図面番号 2 / 3
会社名	
事業者名	西部総合県民県土整備部<美馬>

注 記

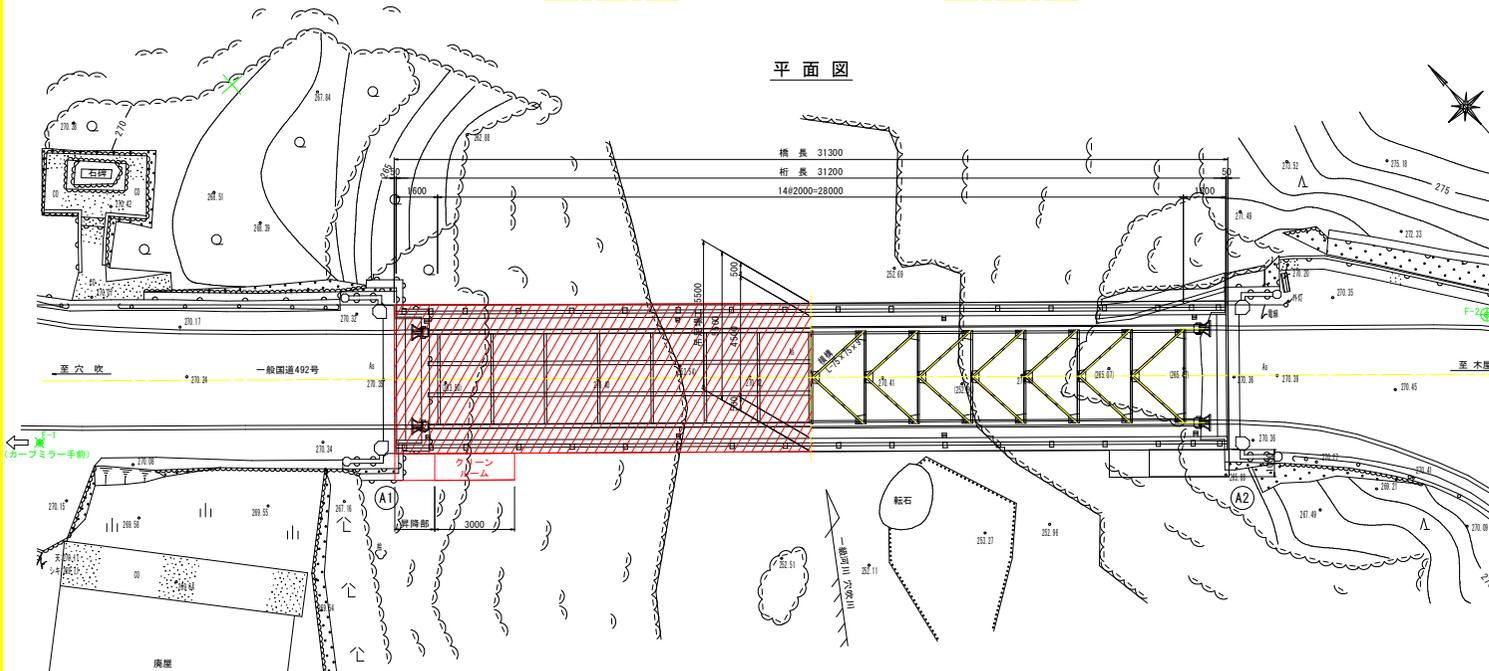
1. 既設塗膜にはPCBと鉛を含有しているため、すべて除去すること。その除去は、剥離剤を用いて湿式で行うこと。
2. 塗膜くずは、溶出試験結果より低濃度PCB汚染物となるため、適切に処理すること。
3. 塗装色は、現塗装色を参考に発注者と協議のうえ決定すること。
4. 対象部材の角部取りや曲面仕上げが行われていない場合は、R=2mm以上の面取りを行うこと。
5. 現場施工条件に応じ、塗装間隔は発注者と協議のうえ別途取り決めること。

# 〈参考〉施工計画図 S=1:100

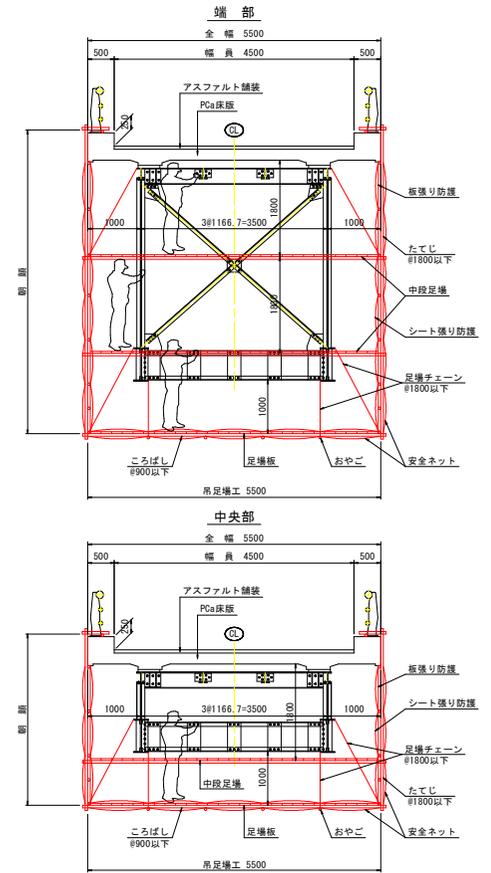
側面図



平面図



構造図 S=1:50



- 〈施工手順(床版下部)〉
1. 施工準備をする。
  2. 吊足場工を設置する。
  3. 塗替塗装の施工を行う。
  4. 吊足場工の撤去を行う。
  5. 後片付けし、施工完了とする。

注記

1. 施工中は必要に応じて時間規制を行うものとし、その時には前後に交通誘導警備員を配置すること。
2. 施工に際して発生する殻・粉塵などは、飛散しないように対策を講ずること。
3. 塗膜剥離は、塗膜剥離剤を使用して湿式で作業を行うこと。
4. 塗膜剥離作業は、PCBと鉛を含有しているため、各種法令を遵守して作業を行うこと。

当初設計図面

工事名	R7馬士 国道492号(龍頭橋)
路線名等	栗・木履平南張 橋梁塗装工事
工事箇所	美馬市木履平南張
図面名	施工計画図(参考図)
縮尺	1:100 図面番号 3 / 3
会社名	
事業者名	西部総合県民県土整備部<美馬>

基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	Z座標
F-1	1000.000	1000.000	270.000
F-2	962.102	1049.286	270.459